

お持ちの森林

お困りでは

ありませんか？



愛媛県下の市町で最大の面積を有する久万高原町（58, 336ヘクタール）は、その90パーセントが森林でおおわれています。（52, 498ヘクタール）そして、その森林の殆どが民有林です。（43, 171ヘクタール）

この広大な民有林は、その多くが昭和30年代に植林された人工林です。昔は、木材は非常に高値で取引をされてきました。

山林所有者の多くが将来の収入を期待して、一生懸命植林を行い、育てた結果が今の森林へと繋がっています。

現在は木材価格が低迷し、植林をした当時に期待した収入を得ることは難しくなっています。

また、全国と同様に久万高原町でも少子高齢化・人口減少などにより林業を行える人材も減少傾向にあります。加えて、山林所有者の方々の町外への転出や、高齢化に伴う森林の相続などにより、「自分の森林の位置が分からない」「自分が森林を持っているのか知らない」など、「森林と所有者」の関係があいまいになる例も多くなってきました。



「下刈り」の風景



「植林」の風景



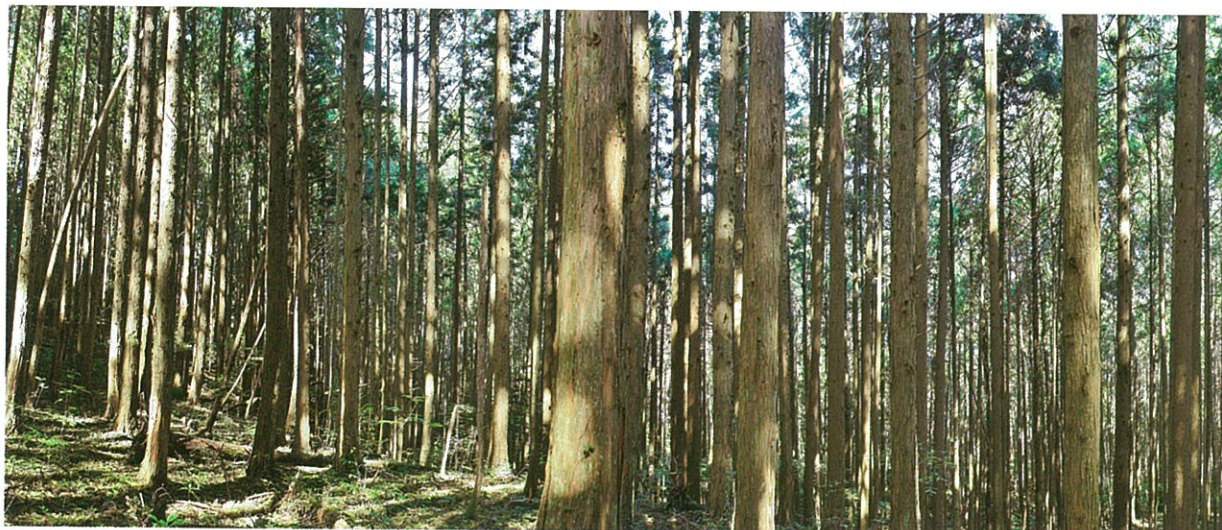
「下刈り」後の風景



切捨間伐を実施した状況

- ・日光が入り木々の生育が良くなります
- ・良材を残すことで、次回の搬出間伐に繋がります

山林所有者が現況の把握をできていないことが、山林の荒廃が進みつつある要因の一つになっていると言えるのではないのでしょうか。



間伐が遅れ混み合っている状況（下層植生が少なく、立ち枯れが発生）